

「レッツ・ライフプランニング 2018」 (25 時間扱い)

授業者 上田 知沙都・阿部 智

1. 総合的な学習の時間の目標・探求的な見方・考え方・本単元の目標・育成を目指す資質・能力を踏まえた単元の評価規準

総合的な学習の時間の目標	探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
	探求的な見方・考え方		
	各教科等の特質に応じて育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の文脈や自己の生き方と関連付けて振り返り、考えること。		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
	探求的な学習の過程において、問題点の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解するようにする。	実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。
本単元の目標	自らの生活の場から問題点を見つけ、解決の方法を考え、まとめることを通して、自らの生活に対して主体的に見つめ直し、自分なりに納得する生活へ改善していこうとすることができる。		
	自らの生活を見つめ直し、問題点を見つけ、解決の方法を考え、まとめることを通して、自分なりに納得できる生活を送るには、自分の役割を自覚したり、挑戦しようとして、人々と協力したりしていくことが大切だということに気付く。	自分なりに納得できる生活へ改善するために、自らの生活の場から問題点を見つけ、解決の方法を考えてまとめることができる。	問題点を追究することを通して、自分なりに納得できる生活を送るために自分のできることを考え、進んで実践しようとする。
	評価 1	評価 2	評価 3

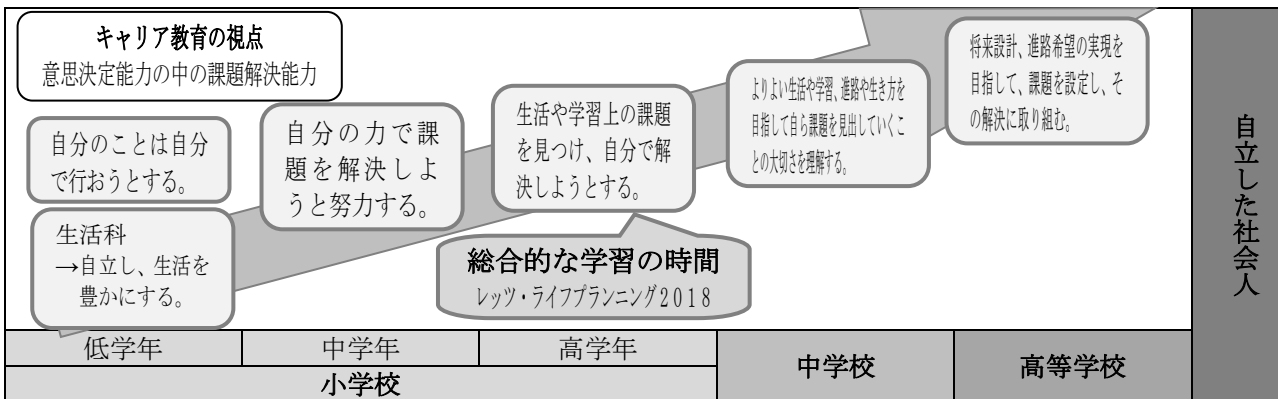
2. 単元について

第5学年の児童は、自己表出したり、豊かな知識をもとに発想したりする力が高い。高学年の仲間入りをした子供たちは、学校全体のことを見通した役割を担う機会が増え、児童会活動やスポーツ祭の係活動では、相手意識をもって下級生を支えたり、自らの考えを主張したりするなど、主体的に働く姿が見られた。

この子供たちは、学校だけでなく、町内会や習い事、スポーツクラブ等、様々なコミュニティに所属している。そして、それぞれの場所で、求められる役割や問題を乗り越えることで、疲弊している実態がある。そのような問題意識をもっていても、それを誰かに相談したり、自ら解決しようとして働きかけたりすることへの見方や考え方をもっていない。

本単元では、子供たちが見つめ直すことがなかった自らの生活について、この機会に一度立ち止まって振り返り、日々抱えている思いや願いを顕在化させていく。その思いや願いのもと、生活を共にする人や友人、これまでの人生経験で困難を乗り越えてきた大人に相談したり、自分なりに考えたりすることを通して、自らが納得する生活の実現に向けて行動していこうとする素地を養っていききたい。子供たちは、それらの経験を通して、達成感や挑戦する心、他者と協力する心を高めることができるであろう。また、自らが納得する生活の実現のために自ら動くことを通して、自分が生活の主体者であるということにも気付くことができると考える。

本単元の学びが、子供の将来へとつながり、多くの人と関わって、より良い未来を作り出す担い手としての芽となることを期待している。また、キャリア教育を促す機会となり得ると考える。



3. 研究との関わり

(1) 本単元における、資質・能力の育成を支える「学びの文脈」

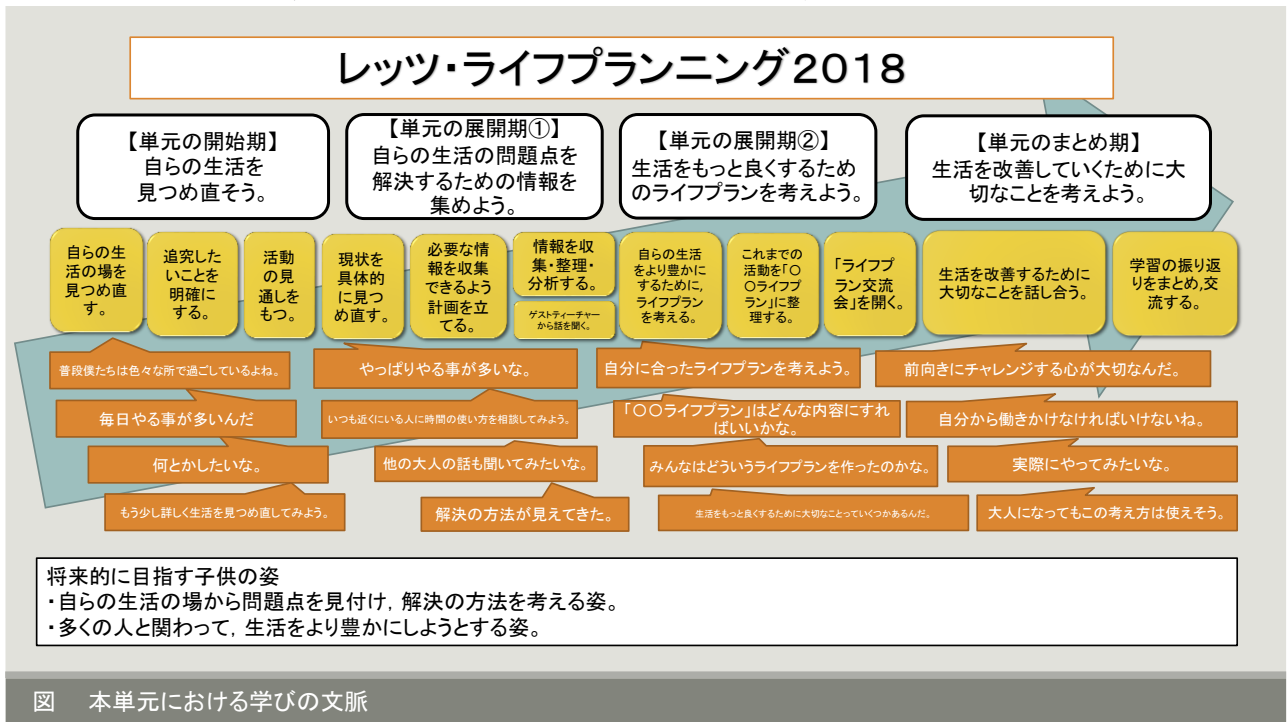


図 本単元における学びの文脈

(2) 「学びの文脈」を生み、つなげる具体的な手立て 以下下線は、資質・能力とのつながり

手立て① 子供の生活の場から問題点を見いだす。

本単元の目標を達成するためには、子供が必要感をもって、主体的に学習することが必要である。そのため、子供一人一人が本当に解決したいと思っていることに目を向けることが大切である。

第5学年としては、「自分たちの生活をもっと良くするために見つめ直そう！」という課題を設定するが、個々がより良くしたいと考える生活の場には違いがあって当然である。アプローチの仕方はそれぞれ違うが、本質的な共通の探究問題点に向かうものであれば、子供一人一人の活動対象がバラバラでも何ら問題はないと考える。

自らの興味・関心、必要感をもとにした個人の課題を設定することにより、主体的に学ぶことができると考える。

手立て② 子供が問い続けられるような工夫をする。

学習活動中、子供たちは「あれ?」「どうして?」といった疑問や驚きをもつ。これらは、「問い」につながる重要なつづきとなる。教師はそれらを見逃さず、クラス全体で考える「問い」へとつなぐことが、子供が意欲的に問題解決をするきっかけとなると考える。

また、架空の小学生（担任の小学校時代という設定）のスケジュールと比較することにより、「自分の生活はどうだろう。」「どういう解決策があるんだろう。」と新たな「問い」を生むことができる。

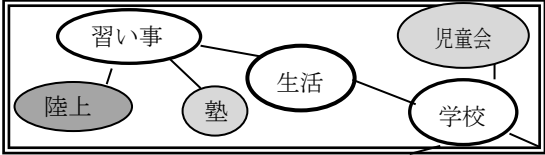
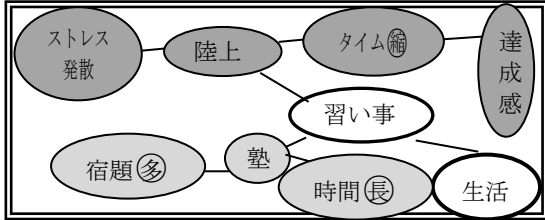
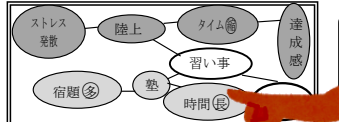
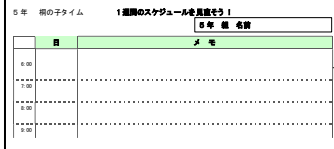
この様に、教師が「問い」を生み出す仕掛けをすることにより、探究的な学習が充実すると考える。

手立て③ 対話により考えを確かにしたり、更新したりする。

自らの生活を見つめ直すということは、自ずと自分自身の中で対話や葛藤を繰り返すことになる。それらを解決するためには、同じ問題点を追究している仲間と意見を交わすことが効果的である。なぜならば、対話をするすることで、考えを確かにしたり、更新したりすることが出来るからである。

教師は、事前にワークシートに目を通したり、授業中の机間巡視をしたりすることを通して、対話の必要感を見取り、「あの子は人との関りがうまくいっているみたいだよ。コツを聞いてみたら?」「あの子ども同じような問題点をもっているみたいだよ。話してみたら。」など個々をつなげたり、全体交流の場を設けたりする。それにより、課題に対する考えを深めることができると考える。

(3) 学びの文脈を生かした単元計画

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期 (1~2時間目)	<p>○ 自らの生活について想起する。</p> <p>普段僕たちは色々な所で過ごしているよね。 そこで、色々な人達と関わっているよね。</p> <p>頑張っている事や楽しい事っていっぱいあるよね。 でも、大変な事もいっぱいあるんだよ。</p> <p>○ 自らの生活に対して日頃感じていることを見つめ直す。</p> <p>毎日やる事が多くて疲れているんだ。 スケジュールをこなすだけでやるべきことができないんだよ。</p> <p>本当は、もっとがんばりたいんだけど…。 もっと良くしていきたいな。</p> <p>自分たちの生活をもっと良くするために見つめ直そう!</p>	<p>☆ 自らの生活について想起することができるよう、ウェビングマップを使い、感情ごとに色分けをして分類し、視覚的に捉えられるようにする。</p>  <p>☆ 自らの生活に対して感じていることを見つめ直すことができるよう、ウェビングマップで色分けした感情の根拠を具体的に書き込むよう促す。【手立て①】</p> 
展開期① (3~12時間目)	<p>○ 自らの生活を見つめ直し、対話をしながら問題点をより明確にする。</p> <p>時間に追われていてつらいんだ。 やることが多すぎて、こなせないんだ。</p> <p>やる内容が難しすぎるからつらいんだ。 何とかしたいな。</p> <p>○ 活動の見通しをもつ。</p> <p>でも、どうすればいいんだろう。 生活のどの部分で困っているんだろう。</p> <p>今までじっくり考えたことが無いな。 もう少し詳しく生活を見つめ直してみよう。</p> <p>○ 現状を具体的にタイムスケジュールシートに記録する。</p>	<p>☆ 生活の問題点を明確に捉えられるよう、ウェビングマップを使って対話をするよう促す。</p>  <p>塾が忙しくてあまり陸上をがんばれていないんだ…。</p> <p>☆ これからの活動に、より明確に見通しをもつて主体的に探究することができるよう、板書で取りまとめて視覚化する。</p> <p>☆ 自分が抱えている問題点を解決するという学習への見通しをもつことができる。【評価3】</p> <p>☆ 生活の場の現状を詳細に記録することができるタイムスケジュールシートを用意する。</p>  <p>このようなワークシートに日~土の分を書き込む。</p>
本時	<p>○ 「ちさと（架空の小学生）スケジュール」から、グループで問題点を見付ける。</p> <p>私はちさとちゃんは時間をむだに思っていると思う。 それもあるけど、イライラしている事が多いのも問題だよな。</p> <p>他のグループはどう考えたんだろう。 じゃあ自分の生活の問題点は…。</p>	<p>☆ 自分の生活の中から問題点を見付けるための考え方を身に付けることができるよう、架空の小学生のスケジュールを使って練習できるようにする。【手立て②】</p> <p>☆ 自分なりに見つけた問題点を主張できるよう、付箋に記入して、KJ法を用いて話し合えるようにする。【手立て②】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の生活の中から問題点を見つける。 <ul style="list-style-type: none"> この前の「ちさとスケジュール」の時の考え方が使えそうだな。 友達にも見てもらおう。 ここが問題なんだ。 どうしたら解決できるかな。 ○ 問題点を解決するために、情報の収集・整理・分析を繰り返す。 <ul style="list-style-type: none"> 身近な人にインタビューをしてみよう。 身近な家族に聞いてみよう。 時間の使い方が上手な友達に聞いてみよう。 他の大人の話も聞いてみたいな。 ○ より良い解決の方法を考えるために、ゲストティーチャーから話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> 大人になっても同じ様な悩みがあるんだ。 そういう時間の使い方があるんだ。 〇〇先生から学んだことも解決策に取り入れられそう。 解決の方法が少しずつ見えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ <u>対話をしながら問題点をより明確にすることができるよう、事前に目を通したワークシートや机間巡視から必要感を見取り、似ている問題点をもつ子同士をつなげる。【手立て③】</u> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 自らの生活の中から問題点を見付けることができる。 評価2 ☆ <u>自ら設定した問題点を解決するために、必要感を見取り、適宜似たような悩みを抱えている子同士を繋げたり、全体で進捗状況を確認したりするなどして、対話しながら探究することができるようにする。【手立て③】</u> <ul style="list-style-type: none"> ☆ ゲストティーチャーが子供にとって必要感がある存在となる為に、事前に入念に打ち合わせを行い、子供の学びに即した情報を発信してもらう。 ◇ 問題点を解決するために、必要な情報を集め、整理・分析することができる。 評価2
<p style="text-align:center">展開期② (13 〜 22時間目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ちさとスケジュール」を使って、生活をより豊かにするための考え方を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ちさとちゃんは土日に昼まで寝ているのをやめればいいよね。 その時間で宿題をできるよね。 それは私の生活にも当てはまりそう。 他の班はどう考えたかな。 ○ より豊かな生活を作るためのきっかけとなるよう、これまでの活動を「ライフプラン」に整理する。 <ul style="list-style-type: none"> 私はどこを改善すればいいかな。 これまでのワークシートを振り返ろう。 自分に合ったライフプランができた。 みんなはどう考えたのかな。 ○ 「ライフプラン交流会」を開く。 <ul style="list-style-type: none"> そういう解決の仕方があるんだ。 〇〇ちゃんは人との関わり方に目を向けたんだ。 その考え方は将来役立ちそう。 大切なことって、いくつもあるんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ <u>具体的な手立てを考えられるよう、「どの様にすればいいの?」「例えばどういうこと?」などと、問いかけをする。【手立て②】</u> <ul style="list-style-type: none"> ☆ より豊かな生活へ改善できるよう、具体的なライフプランの様式を子供たちと共に作る。 ◇ より豊かな生活へ改善するために見つけた問題点に対する解決の方法を考えて、企画書にまとめることができる。 評価2 ☆ <u>対話をしながら交流することができるよう、少人数で交流会を行う。【手立て③】</u>
<p style="text-align:center">まとめ期 (23 〜 25時間目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活を改善するために大切なことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> チャレンジする心だと思う。 周りの人にアドバイスをもらうのも大切だね。 自分から働きかけなければ始まらないよね。 これからも使えそうな考え方だね。 ○ 学習の振り返りをまとめ、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> 前は、「つらい」とだけ思っていたけど、一歩立ち止まって見つめ直すと、より納得できる生活になるということが分かった。 これからも、生きていく中で色々な問題が出てくると思うけど、今回のやり方をまたやってみたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ <u>自分なりの「生活を改善するために大切なこと」を主張できるよう、KJ法を用い、出たグループの意見を板書で共有する。【手立て③】</u> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 自らの生活の場から問題点を見付け、解決の方法を考えることが、生活がより豊かになることにつながるということに気付くことができる。 評価1 ☆ <u>これからの生活の中で応用することが出来るよう、これまでの学習を振り返る。【手立て②】</u> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 問題点を追究することを通して、社会の一員として自分にできることを考え、進んで実践しようとする。 評価3

(4) 本時案 (5/25)

本時の目標	
<ul style="list-style-type: none"> 生活の中から問題点を見付けるための考え方を身に付けることができる。 	
学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<ul style="list-style-type: none"> 前時までの振り返りと、本時の活動の見通しをもつ。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> これまで1週間のスケジュールをまとめたよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> 今日は、先生の小学生時代のスケジュールを見せてくれるんだよ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> これだとあまり生活がうまくいっていないね。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> どうすればもっと良くのかな。考えよう。 </div> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 20px;"> 「ちさとスケジュール」の中から、うまくいっていない所を探し出そう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ <u>自分の生活の中から問題点を見付けるための考え方を身に付けることができるよう、問題点に気づきやすい「ちさとスケジュール」を使って練習できるようにする。【手立て②】</u>
<ul style="list-style-type: none"> 個人で「ちさとスケジュール」の問題点について考える。 グループで「ちさとスケジュール」の問題点を話し合い、整理して、シートに記録する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> 時間をむだに使っていると思う。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> イライラしている事が多いのも問題だよ。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> でも、イライラしているのって、結局時間の使い方が原因なんじゃないかな。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> 他のグループはどう考えたんだろう。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> どこが問題点なのか、みんなと話し合ってみたい！ </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> 問題点の原因について、みんなはどう思うのかな。 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> グループで出た考えを、全体で共有する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> ちがう考え方の班があるみたいだ。聞いてみたい。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> どうしてそういうことに気が付いたんだろう。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> スケジュールの気持ちの部分だけでなく、横に並べるという見方をすれば、新たな問題点が見えてくるんだ。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> 時間、人との関り方、目標をもつこと…がポイントになりそう。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> 問題点を見付けるには、いろんな見方をするのが大事なんだね！ </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> ポイントがわかったから、それを使って自分の生活も考えたい。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ <u>自分なりに見つけた問題点を主張できるよう、付箋に記入して、KJ法を用いて話し合えるようにする。【手立て②】</u> ☆ <u>全体交流の際に問題の解決のための考え方が分類されるよう、T2がグループ毎の意見をメモしておく。【手立て③】</u> ◇ 生活の中から問題点を見付け、それを友達に伝えることができる。 評価2 ☆ 必要に応じて、もう一度「ちさとスケジュール」を見て問題点を見つけられるよう、声がけをする。 ☆ 全体で出た考えを共有できるよう、グループ毎で整理した考えを黒板に貼り、分類したりする。
<ul style="list-style-type: none"> 本時を振り返り、振り返りシートに記入する。 自分のスケジュールを見て、次時の学習の見通しをもつ。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> 次は自分たちの生活の中から問題点を見付けるんだ。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> どんな問題点が見えてくるんだろう。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%; margin-top: 10px;"> 今日の考え方が使えそう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ <u>本時で学んだことを自覚し、次の活動につなげられるよう、振り返りシートを用意する。【手立て②】</u> ☆ 次時の見通しをもつことができるよう、振り返りを基に、自分のスケジュールを見ることを促す。